

Prestressed Concrete



SYOUWA GROUP

COMPANY PROFILE

株式会社 **翔和**

PC事業・ICT事業

株式会社 **九州改良**

地盤改良事業

Ground Improvement

Information and Communication Technology



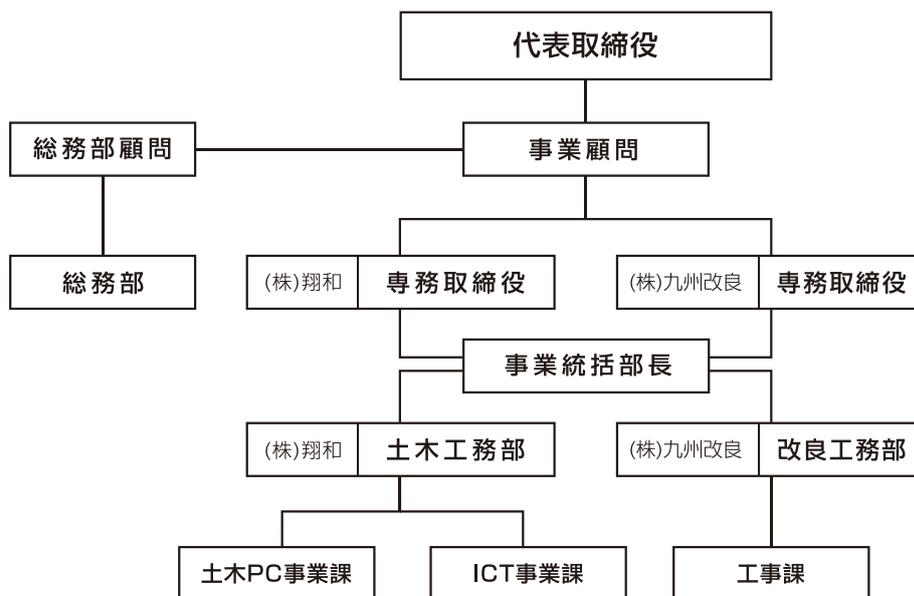
ごあいさつ・企業理念

役立てる技術を提供し、そして社会に貢献する。

当社には「技術を通じて世の中の役に立つ」という、創業以来変わらぬ企業理念があります。「技術やサービスを通じて、お客様の成長を後押しし、多くのお客様の成長を通じて社会を豊かにする」という意味合いだと捉えて、日々の事業を推進しています。社会の価値観に合った、人や企業の「成長」に貢献し、社会にも貢献したいと考えております。

代表取締役 七種 鉄郎

翔和グループ組織図



翔和グループの事業展開



PC事業

翔和独自の工法により
短納期を実現



ICT事業

ICT技術の全面的な
活用工事のご提案



地盤改良事業

パウダーミキサー工法（油圧式攪拌機）
による地盤改良



役立てる技術を提供し、
そして社会に貢献する。

株式会社 翔和

会社所在地 〒846-0012
佐賀県多久市東多久町大字別府5330-1
TEL / 0952-76-3113
FAX / 0952-76-3115

代表者 七種 鉄郎

事業内容 土木工事一式・構造物工事業(主)

組織 役員2名 技術員13名 総務5名

株式会社 九州改良

会社所在地 〒846-0023
佐賀県多久市南多久町長尾4454-9
TEL / 0952-37-1930
FAX / 0952-37-1931

代表者 七種 鉄郎

事業内容 地盤改良事業

翔和グループ 会社沿革

昭和50年 3月 多久市東多久町納所2358に資本金500万円で有限会社 挽地建設を設立

平成24年 5月 有限会社 翔和に商号変更

平成24年 8月 多久市南多久町長尾4454-9に本店移転
代表取締役七種鉄郎が就任
PC事業へ参入

平成26年 4月 資本金1,000万円に増資

平成27年 4月 資本金2,000万円に増資

平成28年 4月 多久市東多久町別府5330-1に本店移転
ICT事業へ参入

平成28年10月 ICT事業に伴う測量業務参入(大臣許可取得)

平成29年 2月 資本金3,000万円に増資

平成29年 7月 株式取得により、有限会社 九州改良工業を完全子会社化

平成30年 5月 有限会社 翔和から、株式会社 翔和へ組織変更
有限会社 九州改良工業から、株式会社 九州改良へ組織変更



Syouwa
株式会社 翔和

PC事業 Prestressed Concrete

PC築構造物は、RC造に比べるとひび割れが発生せず、水密性に優れているため、土木や建築の世界ではかかせない技術となっており、今後とも多くの構造物の建設に取り入れられることが予想され、非常に将来性のある事業です。



大型ボックス工事



効率的でコストを縮減

橋梁工事



安全を架ける

緊張工事



正確な施工技術を追求

ICT事業 Information and Communication Technology

ICT事業はドローンにより航空写真を撮影し、短時間で広域の地表測量を行い、地表の点群化並びに地表の3次元数値化し自動測量を行います。また、設計図面を3次元化することによりボックス・側溝などの丁張りレスでの作業並びに出来形管理の単純化を行う事業となります。

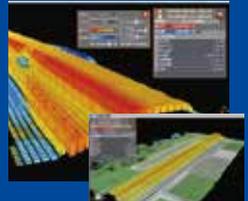


ドローンによる航空撮影

国土交通省が推進する新たな取り組み「i-Construction」

株式会社翔和では、建設現場における生産性を向上させる「i-Construction」の取り組みの一環として、ICT(情報通信技術)を測量、設計、施工、検査の一連の工程に導入する「ICT活用工事」に取り組みます。

当社は i-Construction
業務代行パートナーです。

1. 起工測量	2. 設計・施工計画	3. 施工	4. 施工管理補助	5. 検査
ドローン等による 3次元測量	3次元測量データによる 設計・施工計画	ICT建設機械による 施工	3次元出来形管理等 の施工管理	検査の省力化
			 自動追尾型測量機	

地盤改良事業 Ground improvement

パウダーミキサー工法（油圧式攪拌機）による地盤改良

広い適用性

- ・道路工事（路床・路盤改良・仮設道路等）
- ・構造物基礎工事（建物・擁壁・カルバート等の基礎）
- ・水路工事（泥土改良・基礎改良）

安定した強度

従来のバケット等での改良では一定した強度が確保できずムラが出ていましたがパウダーミキサー工法は油圧式攪拌で土質によりますが平均羽根切りが1分で240回できますので従来の工法とは比べものならず、強度の平均化に優れ、安定した品質が確保できます。

安全性

超ロングアーム（18m）を使用しますので、不安定な場所、離れた場所等においても安全に作業がすすめられます。

施工費のコストダウン

パウダーミキサー工法は、粉体の固化材を使用致しますので、他の工法に比べ、プラント等の設備がなく、組立費もいりません。又、目標強度に対して、従来の工法より固化材の配合量もかなり軽減できます。

万全な品質管理

施工前、施工時、の土質の強度試験・深度の検測等専門スタッフにおいて細心の注意を払い常にデータを基に施工致しますので品質管理は万全です。

環境保護

国・県などの、低振動・低騒音の基準のクリアはもちろんのこと、低発塵形固化材・植物魚類等に影響が少ない固化材を使用により、都市・河川・住宅地・海などへの適用も可能です。

パウダーミキサー工法による施工



固化材散布範囲検測



固化材散布状況



攪拌状況



整形状況

深度検測（フェノール反応試験）



サンプラーによる深度検測



断面掘削による深度検測

油圧式攪拌機（改良深度は0.5m～4.0m）



翔和グループ

<http://www.syouwa-bld.co.jp/>

